

令和3年12月伊那市議会定例会 請願・陳情文書表

令和3年11月19日

番 号	件 名	付託委員会	紹 介 議 員
412-1	新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情（陳情）	経済建設委員会	
412-2	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出についての陳情（陳情）	社会委員会	
412-3	新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と米価下落・資材高騰への対策を求める陳情（陳情）	経済建設委員会	

(412-1)

新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と

米価下落の歯止め策を求める陳情（陳情）

【陳情の趣旨】

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の「消失」から 2020 年産米の過大な流通在庫が生まれ、昨年産米の市場価格は暴落し、緊急事態宣言などによる消費減少が止まらず、今年産米のJAなどの米概算金等も大幅に下がり、多くの米農家が米づくりから撤退することにつながりかねません。

コロナによる需要減少分は、国が責任をもって「過剰在庫」分を市場隔離すべきであり、その責任を生産者・流通業者に押し付けることは許されません。政府の責任による緊急買入などの、特別な隔離対策が絶対に必要です。

同時に、国内需給には必要がないミニマムアクセス輸入米が毎年 77 万トンを輸入され、内 40 万トン～60 万トンが飼料用に販売され、国内産の飼料米需要を奪っています。不要なミニマムアクセス米の輸入数量調整など、国内産米優先の米政策に転換することが必要です。

コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態のなかで、農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が求められます。

以上の趣旨から、下記事項についての意見書を政府関係機関に提出することを陳情します。

【陳情事項】

- 1、新型コロナウイルス感染拡大の影響で起きた需要「消滅」による過剰在庫を政府が緊急買入れし、米の需給環境を改善し、今年産米の過大な生産調整を回避すること。政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困難者などへの食料支援で活用すること。
- 2、国内では生産調整を実行しながら、国内消費に必要な外国産米(ミニマムアクセス米)の輸入を、当面、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施すること。
- 3、コロナの影響で米価等が下落した農家や営農組合に、経営を持続できる給付金を給付すること。

(412-2)

消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出についての陳情（陳情）

【陳情趣旨】

新型コロナ危機の収束や景気回復が見通せない中で、2023年10月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）実施に向けた適格請求書発行事業者の登録申請の受付が進められています。

農業者の9割は免税事業者です。インボイスの保存が「仕入れ税額控除」の前提となり、免税業者は取引から排除されかねません。インボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものです。仕入れや経費に含まれる消費税を価格や単価に転嫁できなければ、ベンチャーもフリーランスも育ちません。

いわゆるJA特例はありますが、Aコープでの直売には適用されません。ましてや、道の駅などの直売所での販売には、インボイスの発行が要求されることもあります。

コロナ禍で時短・自粛営業を余儀なくされ、地域経済が疲弊する中で、中小企業・自営業者の経営危機が深まっており、インボイス制度に対応できる状況ではありません。多くの中小企業団体や税理士団体も「凍結」「延期」「見直し」を表明し、現状での実施に踏み切ること懸念の声を上げています。

新型コロナ危機を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する農業者や中小業者の存在が不可欠です。以下の事項について政府に意見書を提出されるよう陳情します。

【陳情事項】

一、消費税のインボイス制度は実施を中止すること。

(412-3)

新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と
米価下落・資材高騰への対策を求める陳情(陳情)

平素は、農業振興、JA事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の「消失」から令和2年産米の過大な流通在庫が発生し、米の市場価格は暴落しました。

令和3年産米については、市場の過剰感が強く相場の大きな下落予測から、概算金も大幅に下がりました。これにより、米作農家は収入減少となり、生活に大きな支障をきたす事態となるとともに、次年度の生産意欲が減退しています。

コロナ禍による需要減少分は、国が責任をもって「市場隔離」すべきであり、国による効果のある特別対策が必要です。

同時に、ミニマムアクセス米は毎年77万トンも輸入され、内40～60万トンが飼料用に販売され、国内の飼料用米需要を奪っています。不要なミニマムアクセス米の輸入調整など、国内産優先の米政策に転換することが必要です。

また、燃油、肥料、飼料の高騰が農家負担の増加となっており、現場は大変苦しい状況となっています。

コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的状況のなかで、農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の枠組みにとらわれない対策が必要です。

以上の趣旨から、下記事項についての国及び関係機関へ意見書を提出いただくよう陳情致します。

記

1. 農業者・地方が、新型コロナウイルスの影響を乗り越えられるよう、市場隔離効果のある米の特別対策をはじめ、需要回復・拡大対策の継続など万全の対策を講じること。
2. 世界の経済活動再開に伴い、燃油、肥料、飼料等が高騰するなか、営農継続や経営安定がはかれるよう、必要な対策を講じること。

以上